



籠 (えびら)

池田 暁志

Kavli IPMU 博士研究員

籠 (えびら) とは、頂点とそれを結ぶ矢印からなるものです。籠上では、例えばある2つの道を進んだ結果が等しいというような、関係式と呼ばれるものを考えることもできます。籠の理論を豊富にしているのは、籠の表現論です。表現とは、各頂点にベクトル空間を対応させ、各矢印に結んでいる頂点にあるベクトル空間の線型写像を対応させるものです。籠の表現論には、Gabriel の定理や Kac の定理という直既約表現の次元ベクトルと Lie 環のルートを対応させる定理や、表現の Ringel-Hall 代数を考えることで量子群が出てくるなど、様々な深い定理が知られています。また、籠の表現全体を集めたモジュライ空間を考えることで、中島籠多様体などの話題とつながっていきます。

